

事業所における自己評価結果

公表：令和6年2月14日
事業所名：子どもの家エラン

事業所名：子どもの家エラン
職員回答数5名 回収数5名 割合100%

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	メインの指導室以外にも子どもたちがのびのび体を動かせる場所やお庭があります。午前クラス、午後クラス共に、お子さんたちに適切な支援ができるようなスペースを確保しています。	引き続き、お子さんに合わせた適切な発達支援が行えるよう、定員数とスペースの確保に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であるか	60% (3)	40% (2)	0% (0)	昨年度に引き続き、お子さんたちにより充実した支援ができるよう、専門資格を持つ職員の加配を行いました。年度途中で産休に入る職員と退職した職員がおり、その後の職員補填ができなかったため、有給などが取りにくい状況でしたが、必要な人員配置数は確保して運営しています。子どもの活動に制限がでないよう職員同士で日々振り返りを行い、その日ごとに改善点を話し合いました。	引き続き、お子さんたちに必要なよりよい支援ができるように職員を配置していきます。職員数は基準を満たしているのですが、保護者支援・保護者との情報共有や、お子さん一人一人に合わせたプログラムや教材作成のために、職員の仕事量が過重になっている現状があるため、職員の仕事分担なども改善してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	子どもたちの理解力の伸びや成長に合わせて部屋のレイアウトを変える、子どもそれぞれに使いやすいよう物の配置を変える、必要などころに注目を向けやすいよう、余計なものを出しておかないなど、空間設定に気をつけています。活動ごとにエリアを変えることで、活動の終わりをわかりやすく、切り替えがしやすくなるよう工夫しています。場所移動のためにお子さん一人一人に合わせたスケジュールを用意し、自分で次に何があるのか理解して活動に参加できるようにしています。	今後もお子さん方の成長に合わせて、その時最適な空間を提供できるよう、環境設定を工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	2020年度より、午前クラス・午後クラスが終わるたびに使用した教材・玩具の消毒と部屋(指導室・トイレ・玄関など)の清掃を徹底しています。昨年に引き続き清掃を担当するパート職員を入れ、お子さんが過ごす場所の清潔を保つことと、感染症予防に努めています。静かに過ごすスペース、集中できるスペース、大きく体を動かせるスペースなど、活動によって場所を分け、わかりやすく過ごせるように工夫しています。	引き続き、感染予防に注意を払いながら、お子さんが安心して心地よく過ごせる空間づくりを行ってまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	クラス終了後、支援に入った常勤職員全員で振り返りを行い、気づいた点・改善点などを話し合い、翌日/翌週のクラスにいかしています。翌月の活動内容を話し合う月に1回の月案会議にも、支援に入る全ての職員が参加し、お子さんの現状共有と翌月の支援方針の再設定を行っています。	引き続き支援に入る職員全員が振り返りに参加し、PDCAサイクルに参画するよう努めてまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	昨年度の保護者向け事業所評価表の内容を受け、保護者により満足していただけるような運営を心掛けました。行事や保護者勉強会を実施した後もアンケートを実施し、保護者の意向を把握できるよう努めています。年度途中で保護者の要望に応じてイベントや勉強会等を実施し、次年度の計画にも保護者の意見を反映しています。	今年度いただいた意見を職員全員で確認し、次年度より良いサービスが提供できるよう努力してまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80% (4)	20% (1)	0% (0)	職員による自己評価と、保護者からの評価表の結果から自己評価を行い、結果を事業所のホームページに公開しています。ホームページ上に「情報公開」というページを設け、ホームページを閲覧される方の情報へのアクセスを改善しています。	事業所のホームページにて公開されていることを職員へも伝えていましたが、情報の伝え方が不十分で、公開場所がわかっていない職員がおりましたため、今後も職員への周知を徹底してまいります。

育	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40% (2)	60% (3)	0% (0)	第三者による外部評価は行っていません。ただ、保護者や実習生、ボランティアがクラスの様子を自由に見られるようにして、外部の目の入る風通しのよい環境づくりをしています。また、月に1回SVの先生を招いて支援内容を相談する、事業所内部での対応が難しいケースは外部の専門家に紹介して対応を相談するなど、事業所内部だけでケースを抱え込まないように心がけています。	現在第三者評価を行っていませんので、今後検討していきます。また、第三者評価についての職員の理解が不十分でしたので、情報の周知を徹底いたします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	虐待・身体拘束適正化研修、感染症予防研修、非常時対応などの内部研修、法人内の別事業所との合同研修を実施するとともに、区などが主催する外部研修、区の発達センターでの事例検討会などに職員が参加しています。また、職員が自発的に出席を希望する研修に対して、研修費の補助を行い、職員のスキルアップを奨励しています。支援を行う上で役立つ研修については、職員内で定期的に情報を共有し、参加を推奨しています。	今年度、内部研修が十分に行えない部分がありましたので、次年度は研修計画通りの実施を徹底し、お子さんに質の高い支援を提供できるよう、研修を通じて職員のスキルの向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	お子さんの日常生活や課題への取り組みを通じたインフォーマルアセスメントと、保護者からの生活場面での様子の聞き取り、KIDSなどのフォーマルなアセスメントを組み合わせ、支援計画を組み立てています。	引き続き、お子さんの事業所での日常の様子からのアセスメントと、保護者のニーズを合わせて、お子さんへの適切な支援計画の提供を行ってまいります。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	「KIDS(キッズ)乳幼児発達スケール」という標準化されたツールを使用して、お子さんの適応行動を把握しました。就学を控えたお子さんには、保護者のニーズに応じて発達検査・知能検査を行ってレポートを作成し、就学先の選択や就学先との相談に活用できるようにしました。	引き続き、保護者の方のニーズにお応えしてアセスメントを行ってまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	全てのお子さんに対して、児童発達支援ガイドラインに基づき、「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定した支援計画作成を心掛けました。	今年度、作成した児童発達支援計画を保護者にご説明する時期が遅れてしまうケースがありました。次年度はご説明時期が遅れることの無いよう注意し、引き続き、ガイドラインに基づいた具体的な支援内容の設定に努めてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	児童発達支援計画をもとに各活動の目標を設定し、目標を記載した記録用紙を作成することで、職員がお子さんそれぞれの目標を意識して日々の支援を行えるよう工夫しました。	引き続き、支援に携わる職員全員が支援計画に沿った支援を意識できるよう、記録用紙や活動プログラム作成を工夫してまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	毎月の月案会議で、支援に携わる職員が当月の活動の報告を行い、それを踏まえて次月の活動プログラムの立案と指導方法の相談を行っています。プログラム毎に役割分担がされていますが、活動プログラムには職員全員の意見が組み込まれ、準備や実施は協力して行っています。	引き続き、活動プログラムの立案をチームで行うことで、お子さん一人一人に合った質の高い支援が行われるよう努めてまいります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	スケジュールや活動が固定化しないよう、日々活動に変化を持たせるよう心掛け、月案会議で計画を立案しています。スケジュールの変更・中止なども、計画的にお子さんに合わせて教え、柔軟なプログラム提供を行っています。感覚・運動遊び、音楽・リズム遊び、制作、ゲーム、散歩などを季節やお子さんの成長に合わせて様々な内容で行っています。お集りの歌教材や手遊びも、お子さんが覚えて楽しめるよう、かつ飽きないように、入れ替えて提供しています。	活動プログラムが固定化しないよう、職員一人一人の専門性を生かした幅の広いプログラム作りに取り組んでまいります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	全員に、個別と集団の活動目標と活動内容を設定しています。集団活動については、お子さんそれぞれの発達や社会性のレベルに合わせて、内容やグループ編成、グループ人数を考え、無理なく支援目標を達成できるよう工夫して計画を作成しています。	引き続き、お子さんに合わせた個別活動と集団活動を組み合わせて支援計画に盛り込み、実際のクラスで行ってまいります。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	通園クラスは前日の終礼時と当日の朝礼時の2回、通所クラスはクラス前に、支援プログラムや当日の支援の注意点、職員配置、前日(前回)のヒヤリハットや支援の改善点について、支援に携わる全員で確認しています。	お子さんの安全の確保と充実した支援のために、事前の打ち合わせを実施してまいります。	

関係機関や保護者との連携	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	クラス後、支援に携わった職員全員で30分～1時間程度の振り返りの時間を持っています。安全面での配慮(ヒヤリハット)や支援の改善点について共有・記録し、次のクラスに活かせるよう体制を整えています。	引き続き、支援終了後の情報共有の体制を維持、改善し、より良い支援につなげてまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	クラスの振り返りの中で、各プログラムの様子、お子さん個別の様子について記録を行い、支援の改善につなげています。支援がうまく行かない場面では、原因解明のために場面に特化した記録をつけ、支援の改善を図っています。	引き続き、記録の徹底とそれをよりよい支援につなげられるよう努力してまいります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	保護者の方とモニタリングを行い、お子さんの成長とご家庭での様子を共有したうえで、保護者の意見や要望を入れて次の児童発達支援計画を作成しています。	モニタリングとモニタリングの間にも、お子さんの成長に合わせてこまめに目標を設定していますが、支援計画に記載しきれていない部分と、保護者とのモニタリング時間を十分に確保できない部分があったことが課題です。短いスパンでモニタリングと支援計画の更新ができないか、検討していきます。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	全てのお子さんの状況を児童発達管理責任者が把握し、会議に出席しています。	引き続き、お子さんのことを理解した職員がサービス担当者会議に出席し、充実した支援につなげていけるようにいたします。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	必要な場合は各機関と連携して支援を行っていきます。子ども・子育て支援主催の会議にも管理者が出席しています。	必要な場合に関係機関と連携した支援ができるよう、体制構築に努めてまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障がいのあるお子さんを支援していないため、該当しません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				医療的ケアが必要なお子さんや重症心身障がいのあるお子さんを支援していないため、該当しません	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	移行先と連携を取って、当事業所でのお子さんの過ごし方を見学していただく、支援計画書を保護者から移行先に提出していただく、連絡帳を使って当事業所での支援内容を共有するなど、情報共有に努めています。	引き続き、移行先でもお子さんが安心して過ごせるよう、保護者と協力して他機関と情報共有を図ってまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	80% (4)	0% (0)	20% (1)	区指定の就学支援シート(すばるⅡ)の作成を通じて学校への情報共有を行っています。必要に応じて、会議等に参加する体制もございます。	就学先でお子さんが安心して新生活を送れるよう、引き続き情報共有に努めてまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	区の子ども発達センター、区の相談支援事業所と連携し、研修参加、必要な助言をいただくといった連携を行っています。今年度は区主催の、事業所交流を兼ねた事例検討会に2回出席し、区内の児童発達支援事業所とも交流することができました。	今年度は新職員のセンター見学が行えませんでしたので、引き続き、連携の体制を作ってまいります。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20% (1)	60% (3)	20% (1)	他園との公的な交流は企画できませんでしたが、近隣の公園に遊びに行った際に、その公園を利用されている他園の児童と自然な形で交流させていただくことができました。	感染症予防に配慮しつつ、他園との交流を企画していきたいと考えています。	
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	60% (3)	20% (1)	20% (1)	現在参加ができておりません。	自立支援協議会、子ども・子育て会議についての職員の理解が十分ではありませんでしたので、これらの仕組みについて情報共有する共に、今後の参加を検討していきます。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	通園クラスでは、月に1度面談を行い、お子さんの情報共有を行っています。日々の様子については、連絡帳や保護者との交換ノートであるスマイルノートを通じて紙面上で共有しています。送迎をされている保護者には、お子さんの引き渡しの際に直接お伝えする時間を取っています。併用クラスでは、幼稚園・こども園・保育園とより詳しい情報共有ができるよう、利用日の詳細な支援内容とお子さんの様子を連絡帳に記載しています。通所クラスでは、連絡帳を通じて日々の気になる点や困りごとを共有するとともに、クラス前後に連絡帳の内容についてお話ししたり、お子さんの状況やクラス内容について伝えたりする時間を取っています。	通園クラス・通所クラスと共に、引き続き連絡帳や面談でのきめ細かい情報共有を行ってまいります。	

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	保護者勉強会を実施し、卒園生保護者や、成人された保護者の話を聞く会も企画しました。ペアレントプログラムも、すべてのクラスの保護者を対象に1月から実施しています。	引き続き、保護者のニーズに合った支援プログラムを充実させていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	契約時に丁寧にご説明しております。内容に変更があった際はその都度、書面をお渡ししてご説明し、サインをいただいております。	引き続き、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	支援計画は、児童発達支援ガイドラインに基づき、お子さん一人一人に合わせて作成しております。また、作成したものを保護者と確認したうえで、保護者のご意見を入れて完成版を作成し、同意のサインをいただいております。	引き続き、お子さんに合った支援計画を作成し、保護者へのご説明を行ってまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	通園クラス・併用クラスをご利用の保護者の方とは、月1回の親子登園日に面談の時間をもち、ご相談を受けております。また、保護者と事業所の交換ノートであるスマイルノートを通じてご相談を受け付けています。通所クラスをご利用の保護者の方とは、クラス前後に、連絡帳に書いていただいた子育ての悩みについてお話の時間を取り、その中で助言や支援を行っています。	引き続き、保護者の方からのご相談に適切に応じられるような体制を整えてまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	通園クラスでは夏祭り、運動会、クリスマス会、成長を祝う会とイベントを行い、当日に保護者懇談会や交流会を行うことで、保護者同士つながりが持てる機会を設定しました。通所クラスはクラス時間中の待機室での待ち時間で交流を持っていただいております。また、利用者全体に向けた保護者勉強会や、クラスごとの保護者勉強会も実施し、その中でお互いの情報交換ができるよう場を設定しました。先輩保護者から就学前後の情報や放課後等デイサービスの情報を得られるよう、卒園児の保護者から話を聞く会も実施しました。	今年度は昨年度ご好評を頂いた父親同士の交流会を実施できませんでした。引き続き、保護者同士のつながりが持てる機会を設定してまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	苦情対応窓口を設置し、重要事項説明書の説明の際に保護者に周知しております。申し入れのあった際には職員全体で共有し、迅速に対応しています。法人に第三者委員会が設置されており、そちらにもご相談いただけるような体制を整えております。	引き続き、ご相談やお申し入れに対して速やかに対応できるよう努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	月1回「エラン通信 はばたき」というお便りを発行し、活動予定や概要、日程を保護者に発信しております。よりきめ細かい情報発信ができるよう、通園・通所のクラス別に発行しています。	保護者に活動内容を十分把握していただけるよう、「はばたき」や書面でのお知らせを活用していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	書類は鍵のかかるキャビネットに保管し、紛失や漏洩等の事故が起こらないよう日々努めております。クラス内やイベント時の写真や動画の取り扱いについても、保護者の方に確認と同意を得た上で行っています。	引き続き、個人情報の管理を徹底してまいります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	口頭だけでなく、イラスト・写真・文字など見てわかる媒体も使用して、お子さんに大人側の意図がわかりやすいように心掛けています。また、お子さんからの意思を伝えやすくなるよう、絵カードなどを使用しています。今年度ご利用のあった日本語が母語でない保護者へは文書をひらがなにする、英訳するなど、情報伝達の工夫を行いました。保護者に対しても、一人一人に合わせた情報提供を心掛けています。	お子さん・保護者に必要な情報をわかりやすくお伝えできるよう、専門性の向上と配慮を心掛けてまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	80% (4)	20% (1)	0% (0)	今年度は、夏祭りの花火の実施を近隣にお知らせして見に来ていただいたり、事業所の園庭を利用した法人主催のバザーを実施し、近隣の方にご参加いただいたりしました。	引き続き、開かれた事業運営に努めてまいります。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	今年度は感染症BCP・自然災害BCPを新たに作成しました。それ以外の各種マニュアルも、現状に合わない部分は適宜改訂し、更新しています。	毎月地震、火事を想定した避難訓練を実施していますが、不審者対応の訓練の実施はできていないので、今後の課題です。引き続き、現状に合ったマニュアルの整備を図るとともに、実際場面で活用できるよう、研修や周知を徹底していきます。	

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	通園クラスでは月1回程度、通所クラスでは年2回、地震・火事などを想定した避難訓練を行っています。	どのような場面でも対応できるよう、時間・場所や訓練内容に幅を持たせた訓練を引き続き実施いたします。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	契約時にご提出いただく情報シートの中で、服薬・予防接種・てんかん発作等の状況について確認しています。対応が必要な内容のある方には、個別に保護者と相談の上対応しています。	引き続き、お子さんの健康・安全にかかわる情報は職員間での周知を徹底して対応致します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	契約時にご提出いただく情報シートの中でアレルギーについても確認しております。医師の指示書を直接確認はしていませんが、保護者から頂いた情報をもとに対応しています。	お子さんが事業所内で安全に過ごせるよう、保護者と連携した配慮を継続いたします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	60% (3)	40% (2)	0% (0)	事例集という形にはしていませんが、日々ヒヤリハットについて記録し、翌日にも確認しています。	職員がいつでも見やすい形の記録にできるよう、記録の方式について検討してまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100% (5)	0% (0)	0% (0)	毎年、虐待防止に関する区主催の外部研修への参加を行っています。また、虐待防止委員会を設置し、今年度は虐待防止マニュアルの作成を行っています。年に1回以上虐待防止の内部研修を行い、支援者としての倫理や制度上の知識を共有しております。	虐待防止委員会の定期的な開催、職員研修など、虐待の予防と早期発見のためにより適切な対応ができるよう、体制を整えてまいります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	60% (3)	20% (1)	20% (1)	身体拘束適正化についての指針を作成し、HPIに掲載しています。その中でも記載のある通り、身体拘束が避けられない場合は、必ず事前に保護者に確認し、児童発達支援計画に記載の上で了解を得ることを職員内で確認しています。突発的にやむを得ず身体拘束を行った場合も、保護者に状況説明や今後の対応についてご相談しながら方針を決定するようにしています。	引き続き、職員研修を行い、人権と安全に配慮した支援ができるよう職員一同努めてまいります。